

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

台湾の高校との オンライン交流

11月6日、11月20日、12月11日の日程で、台湾の国立台南家齊高級中等学校とのオンライン交流を行いました。

本校の参加者はESS部員や夏のオーストラリア短期語学研修に行った生徒を中心に19名でした。6つのグループに分かれ、Google Meetを利用し、それぞれが作成したパワーポイントを使って、英語で交流しました。テーマは1回目は、自己紹介と学校生活、2回目はホームタウン、3回目は食べ物や祭り、音楽などの文化について意見交換しました。

台湾の生徒の皆さんにとっても、英語は母国語ではないはずなのに、流暢に話され、その積極性に刺激を受けた生徒が多いようでした。各回とも30分という短い時間ではありましたが、充実した交流ができました。この経験をこれから

朝晩がとも寒くなった相生駅で、1年3組と生徒会役員が「さわやか挨拶運動」を実施しました。早朝、生徒会挨拶運動の前の

さわやか挨拶運動

朝晩がとも寒くなった相生駅で、1年3組と生徒会役員が「さわやか挨拶運動」を実施しました。早朝、生徒会挨拶運動の前の

県立高校魅力アップ推進事業 IHI相生事業所見学

の英語学習や異文化理解につなげたいと思います。

魅力アップ推進事業の一環として、12月12日(木)に(株)IHI相生事業所にて校外学習(フィールドワーク)を実施しました。参加者は二年生自然科学コースの希望者です。専門的な部分はとても難しかったですが、生徒たちはメモを取ったり質問したりしながら熱心に聞き入っていました。最先端技術を研究されているということから工場内での写真撮影は禁止されていて、記録に残すことはできませんでしたが、世界有数の技術開発がこの相生の地で行われていることを目の当たりにし、より一層理系分野への興味関心を高め、自分たちの学習の目的が鮮明になりました。

県立高校魅力アップ推進事業 鳥取大学工学部訪問

ごみ拾いを行いました。たばこの吸い殻や空き缶が今回もたくさん落ちており、それらを全員で拾っていくことができました。相生市の環境美化に少しはお役に立てたのではないかと思います。

1年3組と生徒会メンバーで実施した挨拶運動では、気温がめっきり下がり、寒さを感じるようになってきた今日この頃ですが、元氣な挨拶が相生駅をつつみましました。あいさつ運動をすることで、すこしでも地域のみなさんの心が温かくなってくれればと思います。



12月13日(金)、2年自然科学コースは鳥取大学に1日見学に行きました。



午前中は鳥取大学の全体の説明や、工学部の全4学科の研究室を見学して回り、設備や研究内容について大学の先生から丁寧な説明を受けました。また、本校の卒業生である鳥取大学で学ぶ先輩たちに様々な質問に答えてもらい、大学生の生活や受験勉強の方法などを教えてもらいました。昼食は大学の食堂を利用させていただきました。少し大学生の気分を味わうことができました。午後からは農学部、農学部の農場を見学するなど、鳥取大学や各学部について深

く知り、考える機会となりました。貴重な体験をさせていただいた鳥取大学の関係者の方々に深く感謝いたします。生徒にはこの経験を活かし、進路選択についてより真剣に考え、今後の学校生活を大切に送ってもらいたいと思います。



西播磨 ビジネスプランコンテスト

12月21日(土)、兵庫県立先端科学技術支援センターにて第2回西播磨ビジネスプランコンテスト決勝大会が開催されました。本校からは2学年の8名が「相高坂47」というグループで学生アイデア部門中学・高校等の部に出場しました。



それぞれ1次審査・2次審査突破時には、プランの具体化のために神姫バス株式会社様をはじめとした企業の方々と面談を重ねてきました。決勝大会では、それぞれ担当のスライドについての説明を堂々とプレゼンすることができました。

「高校生と学ぼう」相生の食と歴史「矢野莊」から見るこれからの相生」をテーマに、高校生ならではのビジネスプランを披露できました。結果は優秀賞をいただきました。他の参加者の方の発表を見ることで、勉強になりました。このような貴重な体験をご準備いただき

二学期終業式

12月24日(火)、二学期終業式を行いました。

小田校長先生からは次のような話がありました。

【校長式辞一部抜粋】

※全文は相高HPをご覧ください。

私はいつも「皆さんには無限の可能性がある、なりたい自分になることができる」ということを言い続けてきました。皆さんは「なりたい自分」に近づけていますか？

最近テレビのCMにハローキティちゃんが出ているのを見た人も多々います。その中でキティちゃんの言葉に「失敗は挑戦した証、宝物よ」という言葉があります。

このCMは、おそらくスカイダイビングに挑戦したキティちゃんが着地に失敗して木にひっかかった様子が描かれています。私はそういう非日常の経験だけが挑戦ではないと思っています。日常の生活の中にも大きな挑戦、本当の挑戦があるのではないかと考えています。そして、日常の生活の中で挑戦をするかしないかは意識の違いだと思っています。

その後に、表彰伝達式を行い、2学期に活躍した多くの生徒が披露、表彰されました。

